

# 単元 10 日清・日露戦争(T)

## ①対等な条約を目指して

帝国主義…列強諸国が、資源や市場を求めて**アジア・アフリカ**などを侵略し、武力によって植民地を拡大した動き、1869年、スエズ運河の開通によりヨーロッパとアジアが接近。

条約改正…政府は欧米の習慣・風俗を取り入れる**欧化政策**を進め、西洋式の法律を整備したりして不平等条約改正の交渉にあたるが失敗→日本が近代国家のしくみを整えると、**イギリス**が条約改正に応じる。1894年、外相**陸奥宗光**が日英通商航海条約を結び、**治外法権の撤廃と関税自主権の一部**が認められる→他の国とも同様の条約を結ぶ

→1911年、外相**小村寿太郎**の時、関税自主権が認められ、平等な条約を実現

## ②日清戦争

日清戦争…1894年、朝鮮で東学を信仰する農民たちが**甲午農民戦争**をおこす

→朝鮮の求めに応じた清が軍隊を送り、**日清戦争**が始まる→日本の勝利

下関条約と三国干渉…1895年、下関で行われた講和会議で**下関条約**が結ばれ、清は**朝鮮の独立、遼東半島・台湾・澎湖諸島の譲渡、賠償金2億両の支払い**などを認めた

→日本の中国・朝鮮への進出を警戒した**ロシアは、ドイツ・フランス**とともに

**遼東半島**を清へ返還することを要求(**三国干渉**)→日本はこれを受け入れた

政党政治の基礎…1898年、民権派の流れをくむ憲政党が結成され、日本で最初の政党内閣が生まれた。1900年、**伊藤博文**が**立憲政友会**を結成して、政党内閣をつくる

→日本の政党内閣の基礎となった

## ③日清戦争後の中国と日本

中国の分割…清が日清戦争で日本に敗れたことから、**欧米列強の清への進出**が始まった。

朝鮮は清から独立。

**義和団事件**…山東省の各地で義和団を中心とする民衆が蜂起→1900年、義和団は北京に入り、清の軍隊とともに各国の公使館を包囲

→日本・ロシアを中心とする8カ国が軍隊を送り鎮圧

日英同盟…義和団事件以後もロシアは満州(中国の東北部)を占領し、**遼東半島**の軍事施設を強化

→ロシアの東アジアでの勢力拡大を警戒するイギリスと、ロシアの南下を防ぎたい日本は1902年、**日英同盟**を結んだ。

## ④日露戦争

日露戦争…キリスト教の内村鑑三や、社会主義者の幸徳秋水らは非戦論を唱えたが、開戦の世論が強まり、1904年2月、開戦。韓国と満州が主戦場になる。**東郷平八郎**の艦隊がロシア艦隊を破るなど日本に有利に進んでいたが、日本では国民生活が苦しくなり、ロシアでは革命運動が起こった→両国とも戦争継続が困難に

ポーツマス条約…1905年9月、アメリカ大統領の仲介で**ポーツマス条約**が結ばれた。

ロシアが認めたこと

・韓国における日本の**優越権**支配

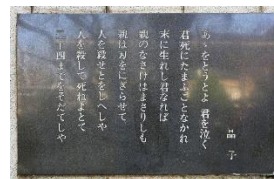
・**遼東半島の租借権と南満州鉄道の権益**を日本に譲ること

・**樺太(サハリン)の南半部**を日本の領土にすること など…

→国民の間には戦争による犠牲者や増税に対し賠償金が得られなかったことに大きな不満が残った一方で、東アジアでの日本の影響力は強まり、欧米諸国は日本の権力拡大を警戒。



ノルマントン号事件



与謝野晶子の詩

(<https://www.travel.co.jp/guide/article/8768/>)

# 単元 10 日清・日露戦争(S)

## ①対等な条約を目指して

帝国主義…列強諸国が、資源や市場を求めて\_\_\_\_\_・\_\_\_\_\_などを侵略し、武力によって植民地を拡大した動き、1869年、スエズ運河の開通によりヨーロッパとアジアが接近。

条約改正…政府は欧米の習慣・風俗を取り入れる\_\_\_\_\_を進め、西洋式の法律を整備したりして不平等条約改正の交渉にあたるが失敗→日本が近代国家のしくみを整えると、\_\_\_\_\_が条約改正に応じる。1894年、外相\_\_\_\_\_が日英通商航海条約を結び、\_\_\_\_\_と\_\_\_\_\_が認められる→他の国とも同様の条約を結び  
→1911年、外相\_\_\_\_\_の時、関税自主権が認められ、平等な条約を実現

## ②日清戦争

日清戦争…1894年、朝鮮で東学を信仰する農民たちが\_\_\_\_\_をおこす  
→朝鮮の求めに応じた清が軍隊を送り、\_\_\_\_\_が始まる→日本の勝利

下関条約と三国干渉…1895年、下関で行われた講和会議で\_\_\_\_\_が結ばれ、清は\_\_\_\_\_の独立、\_\_\_\_\_・台湾・澎湖諸島の譲渡、\_\_\_\_\_の支払いなどを認めた  
→日本の中国・朝鮮への進出を警戒した\_\_\_\_\_は、\_\_\_\_\_とともに\_\_\_\_\_を清へ返還することを要求(\_\_\_\_\_ )→日本はこれを受け入れた

政党政治の基礎…1898年、民権派の流れをくむ憲政党が結成され、日本で最初の政党内閣が生まれた。1900年、\_\_\_\_\_が\_\_\_\_\_を結成して、政党内閣をつくる  
→日本の政党内閣の基礎となった

## ③日清戦争後の中国と日本

中国の分割…清が日清戦争で日本に敗れたことから、欧米列強の\_\_\_\_\_への進出が始まった。  
朝鮮は清から独立。

\_\_\_\_\_…山東省の各地で義和団を中心とする民衆が蜂起→1900年、義和団は北京に入り、清の軍隊とともに各国の公使館を包囲  
→日本・ロシアを中心とする8カ国が軍隊を送り鎮圧

日英同盟…義和団事件以後もロシアは満州(中国の東北部)を占領し、\_\_\_\_\_の軍事施設を強化  
→ロシアの東アジアでの勢力拡大を警戒するイギリスと、ロシアの南下を防ぎたい日本は1902年、\_\_\_\_\_を結んだ。

## ④日露戦争

日露戦争…キリスト教の内村鑑三や、社会主義者の幸徳秋水らは非戦論を唱えたが、開戦の世論が強まり、1904年2月、開戦。韓国と満州が主戦場になる。\_\_\_\_\_の艦隊がロシア艦隊を破るなど日本に有利に進んでいたが、日本では国民生活が苦しくなり、ロシアでは革命運動が起こった→両国とも戦争継続が困難に

ポーツマス条約…1905年9月、アメリカ大統領の仲介で\_\_\_\_\_が結ばれた。

ロシアが認めたこと

・韓国における日本の\_\_\_\_\_支配

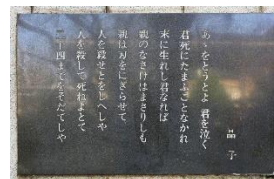
・\_\_\_\_\_の租借権と\_\_\_\_\_の権益を日本に譲ること

・\_\_\_\_\_ (サハリン)の\_\_\_\_\_を日本の領土にすること など…

→国民の間には戦争による犠牲者や増税に対し賠償金が得られなかったことに大きな不満が残った一方で、東アジアでの日本の影響力は強まり、欧米諸国は日本の権力拡大を警戒。



ノルマントン号事件\_\_\_\_\_



与謝野晶子の詩 (<https://www.travel.co.jp/guide/article/8768/>)